

# かすがい



道風くん

## 市議会 だより

令和3年 第1回定例会 (2月19日～3月16日)

第**113**号  
2021年(令和3年)5月

### もくじ

|       |   |
|-------|---|
| 議案の概要 | 2 |
| 代表質問  | 4 |
| 一般質問  | 8 |



「桜の中を行く～期待と不安の中で～」

桜の中を電車が走って見えるアングルを探すのに苦労しました。春日井は自分の生まれ育った街で、桜の木が多い街でもあるので、その魅力が伝わる1枚になればと思って撮影しました。

撮影者: 森 匡宏 撮影場所: 高蔵寺町北

# 議案の概要

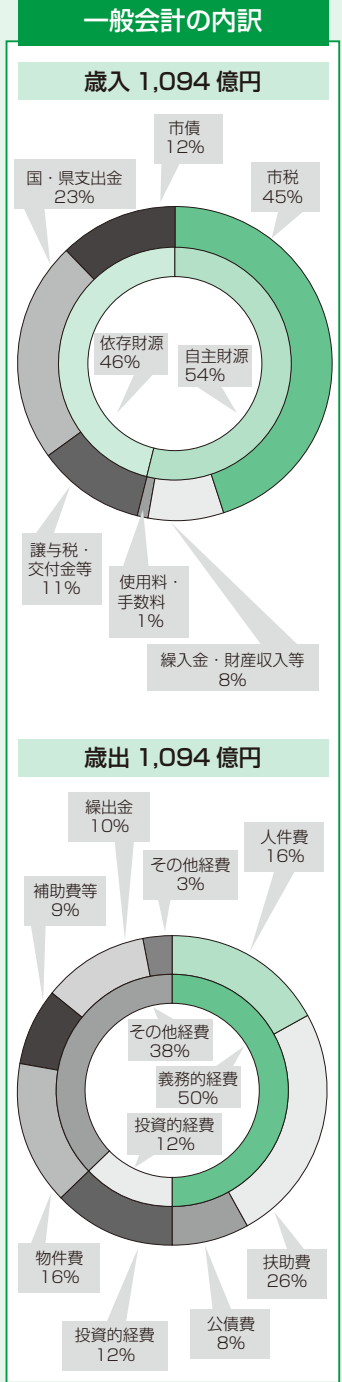
今定例会では、令和3年度当初予算案11件のほか、補正予算案5件、条例案11件、一般議案7件、報告4件、人事案件3件、議員提出議案2件が提出されました。

**当初予算**

**令和3年度予算総括**

単位：千円

|                  |             |               |
|------------------|-------------|---------------|
| 一般会計             | 109,400,000 | (3,280,000 増) |
| 特別会計             |             |               |
| 公共用地先行取得事業       | 81,067      | (66,140 減)    |
| 国民健康保険事業         | 24,485,064  | (500,800 減)   |
| 後期高齢者医療事業        | 5,630,397   | (82,619 増)    |
| 介護保険事業           | 23,638,677  | (379,331 増)   |
| 介護サービス事業         | ※令和2年度で廃止   | 0 (66,918 減)  |
| 民家防音事業           | 26,440      | (1,943 減)     |
| 春日井インター北企業用地整備事業 | 36,149      | (68,568 減)    |
| 潮見坂平和公園事業        | 143,235     | (2,086 減)     |
| 企業会計             |             |               |
| 市民病院事業           | 24,191,179  | (3,335,731 増) |
| 水道事業             | 7,804,920   | (349,772 増)   |
| 公共下水道事業          | 15,465,869  | (677,260 減)   |



**第5号議案**

**可決**

**議案 Pick Up**

**令和3年度一般会計予算**

**「かすがい新生児特別給付金事業」**

予算額 8200万円

コロナ禍の出産後の子育て世帯の負担を軽減するため、引き続き市独自に新生児を対象として3万円を給付します。

**「命名紙入り写真立て贈呈(新規)」**

予算額 750万円

幅広い世代に「書のまち春日井」を実感してもらえる機会を創出するため、新たに新生児全員に書家揮毫の命名紙入り写真立てを贈呈します。

**「多胎児育児支援事業」**

予算額 計438万3千円

多胎児を育てる家庭へ不安や負担に配慮した、きめ細やかな支援を行っていき

**「ICT化推進事業(拡充)」**

予算額 1000万円

民間児童クラブ補助

放課後児童健全育成事業

私立保育園補助

予算額 1150万円

一例として、入退室管理をICT化します。児童がカードをセンサーにかざすあるいはタッチパネルを操作することにより出欠や入退室情報が自動的に記録され、利用状況の把握、集計が可能になります。

**「資源分別収集(拡充)」**

予算額 4427万9千円

金属類分別処理等

多胎児の養育家庭に育児支援や家事等の援助を行うヘルパーを派遣します。子育て家庭訪問支援において、多胎児育児経験者を訪問員として養成し、寄り添った支援の充実を図ります。

多胎妊婦の健診受診票を追加交付し、妊娠中のリスク管理の徹底、異常の早期発見、対応に繋がります。

**「自転車用ヘルメット購入費補助(新規)」**

予算額 300万円

自転車用ヘルメットの購入と着用を促進し、自転車乗用中の事故時の負傷の程度を軽減するとともに安全運転意識の向上を図るため、自転車用ヘルメットの購入に係る費用を補助します。

**「自転車通行空間整備(新規)」**

予算額 1000万円

令和2年度に策定した「春日井市自転車活用推進計画」に基づき、自転車が安全で快適に通行できるように、自転車通行空間の整備を進めます。

**報告第1号**

**可決**

**議案 Pick Up**

**令和2年度一般会計補正予算(第7号)の専決処分**

**「ひとり親世帯臨時特別給付金事業」**

補正額 5683万円

ひとり親世帯臨時特別給付金の「基本給付」の支給対象者に対して、5万円/世帯、3万円/人(第2子以降)の給付金(再支給分)を支給するための補正予算が12月18日に専決処分されました。

**報告第2号**

**可決**

**議案 Pick Up**

**令和2年度一般会計補正予算(第8号)の専決処分**

**「新型コロナウイルスワクチン接種事業」**

補正額 1億6380万円

接種券作成、予約管理システムの構築、コールセンター運営、ワクチン保管用冷凍庫や医薬材料の購入等、接種体制の構築と医療従事者等への接種のための補正予算が2月1日に専決処分されました。

**人事案件**

**同意**

**議案 Pick Up**

任期満了に伴い、教育長に水田博和氏の任命に同意しました。また、任期満了に伴い、教育委員会委員に竹田卓弘氏の任命を、固定資産評価審査委員会委員に井村和光氏の選任を、それぞれ同意しました。

**議員提出**

**可決**

**議案 Pick Up**

**第一号・第二号議案**

議事委員会条例の一部を改正する条例について

議会議事規則の一部を改正する規則について

押印手続きを見直すなど、規定を整備するものです。





# 代表質問

## 市政方針に対して会派を代表して質問します

(代表質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

質問者 林 克巳

### 自由クラブ

#### 令和3年度の予算編成について

**質** コロナ禍の影響で社会が閉塞感に覆われ生活様式が一変した状況下でも将来を見据え事業を推進していく事が重要です。新型コロナウイルス感染症対策と並行して、子育て施策の充実や、新しい生活様式への対応、行政のデジタル化など積極的に事業を進めるなかで持続可能で健全な財政運営が求められますが令和3年度の予算編成の基本的な考え方について伺います。

担当 財政課

**答** 子育て世代に選ばれるまちづくり、市民生活に対する支援、経済の活性化、行政サービスのデジタル化、子どもの遊び場の充実など、このようなときだからこそ積極的に実施すべき施策と予定どおり着実に進めるべき施策を盛り込んだ積極的な予算としています。これらの施策を中心に、将来を見据えた各施策を強力に推進することにより、社会に漂う閉塞感を打破し、誰もが暮らしやすく幸せを実感できるまちをめざします。



#### 新型コロナウイルス対策について

**質** 新型コロナウイルスの感染拡大により人の動きが制限され今日に至りました。この先、感染を収束させるには市民へのワクチン接種を滞りなく迅速に進めていく必要があります。ワクチンの接種事業について、現在の進捗状況と今後の進め方を伺います。またコロナ禍で疲弊し苦しい思いをされている個人、事業者の方々への今後の支援の在り方について伺います。

担当 健康増進課  
企画政策課

**答** 市医師会や市薬剤師会の協力により、身近な医療機関での個別接種と公共施設での集団接種を併用して実施する体制を整えました。ワクチンが届き次第速やかに接種を開始できるよう、クーポンの送付やコールセンターの設置など適切に対応してまいります。個人や事業者の方々への支援のあり方については、感染状況や地域経済の情勢、国や県の動向などを的確に把握し、必要な方に、必要な支援が確実に届くように、スピード感を持って、対応していきます。



#### 無電柱化について

**質** 大型台風や地震で倒壊や破損した電柱が復旧作業の支障となり、生活再建に多大な影響を及ぼすことから防災上、無電柱化の必要性が改めて認識されました。また無電柱化により整備された街並みは快適な通行空間を確保し都市の魅力も向上します。安心安全で若い世代から定住のまちとして選ばれるためにも無電柱化によるまちづくり整備が必要ですがお考えを伺います。

担当 都市政策課

**答** 無電柱化は大規模災害時の道路寸断防止、安全で快適な通行空間確保、良好な景観を形成するなど、まちづくりの重要な要素です。本市では、都市交流拠点である市役所や主要駅周辺を中心に、道路改良工事や市街地開発事業などのまちづくりとあわせ無電柱化を推進します。令和3年度は、高蔵寺駅北口周辺の再整備にあわせ、玄関口として魅力ある顔づくりに向けた無電柱化の検討を進めます。



#### デジタル技術の活用について

**質** テレワークやキャッシュレス決済が広がりを見せるなど新しい生活様式への対応が求められる時代となりました。本市においても押印廃止の検討が進むなど急速にデジタル化が進み始めました。新しい生活様式のもと行政のデジタルサービスの恩恵を最大限、享受できるように仕組みを構築して頂きたいと思えます。デジタル技術の活用について今後の考え方を伺います。

担当 情報システム課  
(現デジタル推進課)

**答** 令和3年度に、ICT推進室をデジタル推進課に進化させ、デジタル化に関する様々な取り組みを加速させていきたいと考えています。現在進めている押印の廃止は、さらなるデジタル化に向けた第一歩と考えており、オンライン申請を拡充するなど、行政サービスをさらに向上させていくとともに、RPAなどによる内部事務の効率化を図り、行政サービスと行政運営の両輪で、デジタル化を推進していきます。



#### その他の質問事項

- ・ グリーンパレスの子ども遊び場について
- ・ 小中学校の整備について
- ・ 消防施設の整備について
- ・ JR 春日井駅周辺の再開発について
- ・ 道路の整備について
- ・ シティプロモーションについて 他

市政方針とは、市長が市政運営に対する基本的な考え方や主要な施策について述べるものです。市政方針の全文は春日井市のインターネット公式サイトで御覧いただけます。▶



市民クラブ

質問者 村上 しんじろう

保育環境の充実について

**質** 保育環境については、これまで待機児童ゼロの堅持に向けて継続的に取り組んでいただいております。そうした中、市政方針には、育休退園に向けた取り組みおよび延長保育・休日保育・特別支援保育を拡充するとありますが、これらの取り組みには、日頃から多くの要望が寄せられており、取り組みの推進に期待するところでもあります。取り組みの具体的な内容を伺います。

担当 保育課

**答** これまでも保育士の確保を始め、民間保育施設の整備促進による定員の拡充や、保育の質の向上のための研修、多様な保育の充実など、様々な観点から取り組んでまいりました。民間保育施設の整備等により「育休退園」に対して積極的に取り組むとともに、延長保育は8施設、休日保育は1施設、特別支援保育は1施設で拡充してまいります。今後、各地域の保育ニーズに応じた保育環境の充実に取り組みしていきます。



学校の部活動について

**質** 中学校の部活動について、教職員の働き方改革の環境として注目されており、議会でも定期的に取上げられております。部活動運営の民営化を進める自治体も見受けられるなど、運営形態は過渡期に差し掛かっていると考えます。検討会議を設置し、あり方を検討することですが、現状どのような課題を認識し、どういった方向性に向けて検討を行うのか伺います。

担当 学校教育課

**答** 中学校の部活動については、部活動指導員の配置により教員の負担軽減に積極的に努めていますが、指導員の確保、指導員個々の適性に応じた活用方法、及び生徒の競技志向や体験志向などの取り組み方に対する多様なニーズへの対応などが課題です。このため検討会議では、部活動の担い手、学校及び地域の実態に応じ、地域住民の協力、社会教育関係団体との連携など、運営形態の方向性について検討していきます。



公園の活用について

**質** 春日井市の公園は、落合公園・都市緑化植物園・朝宮公園など恵まれた環境にあると認識しております。落合公園について民間活力の導入手法を検討するとありますが、全国的に、パークPFIを導入し既に経済の活性化や管理費の削減などの成果を現している事例も見られ、取り組みに期待をするところであります。民間活力導入に向けた検討の方向性について伺います。

担当 企画政策課

**答** 落合公園については、グリーンパレス春日井における、子どもの遊び場の整備を契機とし、公園全体が統一感ある魅力あふれる施設となるように、今後の整備の方向性を検討していきたいと考えております。民間活力の導入による新たな機能の可能性や整備、管理などについて、他市の事例の調査や研究をするとともに、様々な業種の方々に対してヒアリングを実施するなど、検討を進めてまいります。



地域公共交通について

**質** 本年1月に策定した地域公共交通計画に基づき、本年10月にシテイバス路線の再編を行い地域の実情に応じた移動手段を導入するとあります。シテイバス路線再編の中で、デマンド交通への移行を検討している地域がありますが、今後、公共交通空白地域に対して、今回導入されるデマンド交通の手法を展開していく考えがあるかを伺います。

担当 都市政策課

**答** オンデマンドバスについては、牛山・鷹来地区で、地域が主体となつて様々な手法に取り組んだ実験結果を受け「シテイバスミニ」を導入します。こうした取組事例を参考にして、地域が主体となつて検討していくことが重要であることから、他の地域についても、その実情に応じた移動手段を利用する機運を育て、検討会などの活動を支援するとともに、実験や結果の分析を行い、導入を検討していきます。



その他の質問事項

- ・多胎児支援について
- ・公共下水道の整備について
- ・地域ブランドであるサボテンの取組について
- ・避難所での災害の備えについて
- ・企業への支援について
- ・デジタル技術の活用について 他



# 代 表 質 問

## 市政方針に対して会派を代表して質問します

(代表質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)

質問者 佐々木 圭祐

公明党

### 母子保健事業について

**質** 「子はかすがい 子育ては春日井」宣言のとおり、子育て支援の充実を図りながら、すべての世代が暮らしやすさを実感できるまちづくりを進められています。

母子保健事業での、専門職による相談体制や3歳児健診での視覚検査について、体制や検査器具など、具体的な内容を問う。

担当 子ども政策課

**答** 妊娠から出産前後は、母親の気持ちが必要になり、精神面の支援が重要です。子育て世代包括支援センター機能の充実のため、さんさんルームや乳幼児健康診査を実施している総合保健医療センターの3階を、母子保健事業の拠点とし、保健師が常駐して気軽に相談できる体制を整備するとともに、新たに心理職による子どもの発達面の電話相談を開始します。視覚異常の早期発見・治療のため、3歳児健診に視覚の屈折検査機器を導入します。



### 放課後の子どもの居場所について

**質** 新たに押沢台小学校に子どもたちが安全に過ごせる場所の確保にご尽力頂き、ありがとうございます。

これまでも、居場所については、児童数や地域性など、様々なご要望があったかと思えます。新たな開設、整備について、経緯や考え方を問う。

担当 子ども政策課

**答** 放課後の子どもの居場所については、全ての小学校に放課後なかよし教室を設置し、また、夏季休業中にはサマー・スクールがかがいを実施するほか、基本的に各小学校区に放課後児童クラブの設置を進めています。



取り組みのさらなる充実のため、押沢台小学校内に子どもの家を開設するとともに、西尾小学校区には新たな取り組みとして、あい農パーク春日井を活用した子どもの居場所を設置します。

### 感染症の予防について

**質** 今回、新型コロナウイルススワクチン接種に向け準備が進み、緊急性とスワクチンの特性上、個別接種と集団接種の体制と聞いています。従来から続いている子どもの予防接種であるBCGスワクチン接種について、指定医療機関での個別接種に変更した経緯、考え方を問う。

担当 健康増進課

**答** BCGスワクチン接種は、他の予防接種と手技等が異なるほか、接種後に特別な処置が必要になる場合もあるため、集団接種で実施していましたが、接種後の処置が地域の医療機関でも適切に対応できることや、協力医師も増加したことから、個別接種により実施します。乳児期の予防接種は、年々、種類や回数が増え、保護者の接種管理の負担が多いため、かかりつけ医のもとで、他の予防接種と同じように接種を受けられることは、安心につながると考えます。



### デジタル技術の活用について

**質** 新型コロナウイルス感染症により、職場や学校でリモートによるテレワークやテレビ会議など活用が一気に進み始めています。市においてもデジタル推進課を設けて、組織横断的な企画立案や迅速かつ、サービスの提供など、取組みに期待します。本市においてデジタル技術の活用にて、どのような形で、市民サービスの提供が図られるのか具体的な取組みを問う。

担当 情報システム課 (現デジタル推進課)

**答** オンライン申請を拡充することで、行政手続きのため市役所に来ていただくことなく、オンラインで完結できるようにするとともに、市役所に来ていただく場合でも、待ち時間をなくす取り組みを検討していきます。さらに、1月から始めているオンライン相談に加え、市政について意見交換できる場をオンライン上に構築し、市民の皆様が参画しやすい仕組みづくりに取り組むなど、デジタル化を推進していきます。



その他の質問事項

- ・ 市政運営の基本的な考え方について
- ・ 交通安全について
- ・ 区や町内会などの地域団体への支援について
- ・ 避難所での災害への備えについて
- ・ 障がい者福祉について
- ・ 名鉄春日井駅の整備について 他

市政方針とは、市長が市政運営に対する基本的な考え方や主要な施策について述べるものです。市政方針の全文は春日井市のインターネット公式サイトで御覧いただけます。



日本共産党春日井市議会議員団

質問者 宮地 ゆたか

リニア新幹線工事  
について

**質** 大深度地下のトンネル工事を原因とした市道等の陥没事故が調布市で発生しました。事故の発生した一帯は砂層で地質を工事の前に把握していなかった事が問題になっていきます。春日井駅の南からの一帯でも空洞が発生する恐れがあります。春日井市においても市が関係する各種工事での地中のデータ等情報を収集して、事業者に必要な対応を申し入れする等の考えを問う。

担当 都市政策課

**答** リニア中央新幹線は国土交通省よりJR東海に対し建設の指示がなされ、安全な工事の実施は事業者の責務です。市は愛知県を通じて「環境への影響に対する新たな事実が確認された場合には、周辺の生活環境を阻害することのないよう対処すること」などを、複数回JR東海に申し入れていきます。引き続き新たな環境保全技術などの知見も取り入れ、市民が不安なく暮らせる安全な工事実施をJR東海に要請します。



新かすがい男女共同参画  
プランの改定について

**質** 男女共同参画という言葉ではジェンダー平等の問題点を表わせきれないので、併記する、という問題提起です。わたくしども日本共産党は、綱領に、ジェンダー平等社会をつくることを掲げています。我が国では、女性の活躍を強調して、大企業は女性を低賃金で働かせ、男性には長時間労働を押し付けています。ジェンダー平等について、わが市の考えについて問う。

担当 男女共同参画課

**答** ジェンダー平等については、社会的性別と言われる「ジェンダー」により生き方を制限されることなく、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野において対等な構成員として参画することができるとして参画する考えです。社会であると考えています。新かすがい男女共同参画プランの改定にあたっては、ジェンダー平等に向けた世界的な潮流などの社会情勢の変化や、国が示す考え方を踏まえ、策定していきます。

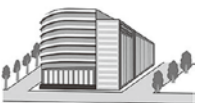


JR高蔵寺駅の北口整備  
について

**質** 駅利用者が周辺に留まり、賑いを創出する。ニュータウンや周辺の住民も楽しみや利便性を享受できるという計画です。駅北側には道路が走っているのに、バス、タクシー等の乗り場へは地下道を利用します。駅前賑いを創出するという観点からは構造的な欠陥があると考えます。交通の利便性の為の改善はありうるが、賑い創出が可能とは思えません。考えを問う。

担当 ニュータウン創生課

**答** 北口駅前広場では、バスや一般車から鉄道への乗り換えの利便性は維持しつつ、地下道への階段を広く明るい開放的な空間とするなど公共空間の再編にあわせて、にぎわい施設を誘致し、人々がとどまり、にぎわいを創出するように整備を進めるとともに、駅南口周辺や地下道空間の改善により、にぎわいが駅周辺へと広がり、高蔵寺ニュータウンや駅周辺の住民が楽しみや利便性を享受できると考えています。



地球環境について

**質** 菅首相は昨年の所信表明演説で、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。大きな方針転換です。原子力発電を前提としての脱炭素という部分はダメです。私は昨年の一般質問で、気候非常事態宣言、温室効果ガス排出量の削減目標を質しました。国の計画が変わると思いますが、市の対応を問う。

担当 環境政策課

**答** 温室効果ガス排出量を削減するため、省エネ・創エネ・蓄エネの推進や市民一人ひとりの環境意識の向上に努めるとともに、クリーンセンターの廃棄物焼却熱で発電した、二酸化炭素が発生しない電力を本庁舎等に導入し、再生可能エネルギーのさらなる活用を進めていきます。また、低炭素社会の実現を環境目標の一つに掲げる次期環境基本計画を策定し、市民や事業者、行政のパートナーシップによる環境まちづくりを推進していきます。



その他の  
質問事項

- ・10年、20年先の展望について
- ・教科担任制の拡充について
- ・潮見坂平和公園の合葬式墓地について
- ・多胎児支援について
- ・区、町内会活動への支援について
- ・あい農パーク春日井について 他

# 一般質問

今回の定例会では、18人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、29項目の一般質問を行いました。

## 市政全般にわたる問題について質問します

一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。

各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



道風くん

### 家庭ごみの排出問題について

1

質問者 奥村 昇次

**質問** 家庭から出るプラスチック類は、ペットボトルやコンビニ弁当箱等の容器包装は「資源」、おもちゃやバケツ等の硬質プラスチックは、大きさが30、80cmの各々の区切で、「燃やせないごみ」、「粗大ごみ」に分ける等多様多様で、分別が理解し辛い為、プラスチック類全体の廃棄方法が一目でわかる図入の表を作成し、市民に展開して欲しい。

**担当** ごみ減量推進課

**【答弁】** 現在、国ではプラスチック製容器包装を含むプラスチックごみ全般を、まとめて回収しリサイクルする仕組みを検討しており、今後、その仕組みが導入されると、排出区分がわかりやすくなるので、本市も導入に向けた検討をしていきます。現在の排出区分については、環境力レンドアや資源・ごみの出し方便利帳の中で、市民の方がよりわかりやすい記載に努めるとともに、様々な機会でも周知・啓発を図っていきます。



### 学校の少人数学級について

2

質問者 まえだ 学

**質問** 公立小学校の学級編成について、令和3年度より5年かけ小学校が35人学級に移行します。その対応により現状の小学校の教員数と教室の充足度と学校の規模数はどのようになっているか、また、今後起こりうる、市内の学校規模の格差について、市教育委員会はどのように捉え、今後、どう取り組んでいくのかを問う。

**担当** 学校教育課

**【答弁】** 35人学級実施時の教室については、現時点の児童推計では、既存施設で対応できる見込みであり、必要な教員は、義務標準法の定めにより、県が配置すると聞いています。学校の適正規模は、児童数、通学区域、地域コミュニティなどの事情も加味しつつ様々な条件も同時に検討する必要があります。そのため、学校関係者、保護者、地域の方々、子どもたちの望ましい教育環境をめぐり、視点での協議と合意形成が必要と捉えています。



### こども110番の家について

3

質問者 鈴木 秀尚

**質問** こども110番の家の利用は、過去3年間で利用の事例がなく、件数も減少しているが、今後件数を増やすためや、効果的に活用できるようにするため、どんな取り組みをしていくか。また、全ての学校において、110番の家が記載された安全マップの家庭への配布や、通学路上の110番の家を、児童に把握させるよう指導することが必要と考えるが考えを問う。

**担当** 市民安全課  
学校教育課

**【答弁】** こども110番の家については、一斉下校指導時の訪問等により顔の見える関係作りに努めており、家庭や児童に把握させる指導は、全校が作成している安全マップ配布と通学路点検等で確認するよう進めます。登録件数の増加については、学校や警察と連携しながら、周知啓発を行います。また、安全・安心まちづくりポスターと連携して開催しているこども防犯教室などを通して、活用促進を進めています。



### 小・中学生の体力向上について

4

質問者 かじた 正直

**質問** 市内の小・中学生の体力が全国最低であるという間違った噂があるがそれは事実ではない。しかし時代と共に低下傾向にある事は事実である。それを踏まえ①小・中学校で基礎体力・体幹を鍛える事を主とした部活動の設立は学校長もしくは教育委員会の判断でできるのか。また、②教員の働き方改革を踏まえ民間の力を借りた部活運営と教員の携わり方について問う。

**担当** 学校教育課

**【答弁】** ①部活動は、校長の判断で設立等されますが、基礎体力・体幹を鍛えるだけの部活動はありません。基礎体力・体幹を鍛えることは、小中学生の体力向上に必要ですが、部活動の枠組み内での実施は研究が必要です。②今後のあり方は、民間に加え地域の力を借りることも検討します。部活動に携わりたい教員については、国の兼職兼業の通知を精査中です。今後は他市状況を注視しつつ、教員が携われる方法を検討します。





### コロナ禍における生活保護について

5

質問者 金沢 はるき

厚生労働省の発表によると昨今の生活保護申請件数は増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症拡大による雇用情勢の悪化が影響していると思われるが、本市における生活保護の件数の推移のうちコロナの影響を受けた件数について伺う。またコロナ禍で扶助の種類に変動があったのか、そして申請時に実施する扶養照会に対してはどのようなにお考えか伺う。

担当 生活支援課

【答弁】生活保護開始件数は平成30年度が286件、令和元年度が252件、令和2年度は1月末時点で219件で、うちコロナの影響を受けた件数は令和元年度が9件、令和2年度が53件です。2年度は医療扶助費と介護扶助費が前年同期と比べ約1割減少しています。これはコロナ禍における外出自粛等が起因したものと考えます。扶養照会はそれぞれの家族の事情に充分な配慮をしながら実施していき、ものと考えます。



6

### 市民病院のコロナ禍の対応について

質問者 はせ かずや

県主管の保健所による医療体制整備の遅れにより、主要な感染症指定医療機関である市民病院に入院治療・検査など過度な負担がかかり、昨年末院内感染の発生も大きく報じられ、結果風評被害につながった。診療への影響や新型コロナウイルス診療実績の開示と長年黒字経営を続けてきた病院の現在の経営状況と新棟建設を控えた今後の経営見通しについて問う。

担当 管理課 医事課

【答弁】令和3年1月末迄のコロナ感染症患者の診療実績は、実入院患者数137人、検査件数5222件です。また、院内感染による診療への影響は、外来診療を継続できたため最小限であったと考えます。経営状況は、令和2年度及び3年度の経常黒字は困難と見込みますが、ワクチン接種や、これまでに培った健全な経営基盤、新棟増築による多様化する医療需要への対応により、患者数の増加を図り、4年度以降の経常黒字を目指します。



7

### 子育てを「孤育て」にさせない相談体制について

質問者 小林 のぶ子

コロナ禍で外界との接触が減ったことで、孤独を感じながらの「孤育て」が増えていると言われている。①相談できる事業の開催状況②多様な問題を抱える子育て家庭の相談についてどのように対応しているか③国において求められている子ども家庭支援の調整機能を担う拠点としての「子ども家庭総合支援拠点」の体制づくりについて、本市の考えを問う。

担当 子ども政策課

【答弁】教室や相談できる事業は、一定期間休止後、縮小して再開しており、4か月児健診では休止期間中に保健師が対象家庭に電話をかけ相談を実施しました。複合的に問題を抱える子育て家庭には、子育て世代包括支援センターで主に乳幼児の保護者の相談に応じ、必要に応じて関係機関等と連携して支援しています。子ども家庭総合支援拠点については、相談全般に對しソーシャルワークを重視する対応が必要で、子ども政策課を拠点として位置付け、支援体制を整えます。



8

### 従来の選挙を一変するオンライン選挙の可能性について

質問者 いしづ 厚治

インターネット投票は以前からアイデアはあるが、なかなか実現しないことの一つである。実現には、安定的なシステムや、自由意思での投票環境の確保など、乗り越えるべき課題はあるが、投票機会の平等の確保や選挙管理に関わる運営コストの削減効果など大きな可能性を秘めていることは確かである。そこで、インターネット投票について本市の考え方を問う。

担当 総務課

【答弁】インターネット投票の実施のためには、まず国において関係法令が整備される必要がある。また、情報システムの全国的標準化が進められている現状においては、二重投票の防止や、投票システムへのサイバー攻撃対策等も含めて、各地方自治体が個別に行うのではなく、国の主導により推進される必要があると考えます。本市としては、今後の国の動向を注視するとともに、その適正な執行方法について調査・研究していきます。



9

### 長引くコロナの影響により広がる経済格差と対応策について

質問者 末永 けい

①個人・法人の経済格差(所得及び資産)拡大の市の認識とその理由②なぜ日本は経済ショックからの回復率が他国より低いのか③需要の回復見込みと市内経済の成長戦略をどのように考えているか④新たな需要を喚起する必要性と施策⑤コロナの影響で膨らんでいる企業債務の返済可能性⑥労働者がより生産性の高い分野へ再就職できるように支援する考えを問う。

担当 経済振興課

【答弁】①コロナの影響を受けた中心が所得の低い業種だったことにより所得格差が拡大し、昨今の株高の影響で資産格差が拡大していると認識しています。②特定業種に依存する経済構造とスタートアップ企業が育ちにくい環境が障壁だと考えています。③④支援策活用により、企業の新事業やデジタル化を推進する必要がありますがあると考えます。⑤返済が据え置かれている間に利益率向上を図ることが重要だと考えます。⑥八



10

質問者 田中 千幸

質問

毎年3月は自殺対策強化月間。今年はコロナ禍により新たな懸念が増大。最新の自殺者数発表で女性や小中高校生が多い傾向とのこと。コロナ禍に於ける相談や周知・啓発の取組を問う。また、小中学校現場での早期発見への現状を問う。そして庁内各課を横断した実務者連携会議で更なる発見と的確な対応に結び付けられると考える。その会議の状況について問う。

担当 健康増進課

【答弁】 感染予防を講じた対面相談の継続とともに、新たにオンライン相談やストレスの予防、解消に役立つパンフレットの設置など啓発に努めています。また、学校では、日常から子どもとの関わりを深め、不安や悩みの把握につながる子どもの理解に努めています。連携については、地域包括支援センターなども課題や困難事例を共有し、支援策の協議に努めるほか、自殺のサインを察知した場合に連携が速やかに図られるよう、必要に応じて協議を重ね適切な支援を行います。



11

質問者 田口 よしこ

質問

生活困窮者自立支援制度による相談支援が機能するためには自治体と委託先が協働関係を構築して自治体としての適切なバックアップやガバナンス、事業のモニタリングが不可欠。①自立支援事業の適正かつ効果的な実施について、現状と今後どのように取り組むのか問う。②自立支援事業について関係課や関係機関との連携強化が必要。今の在り方について問う。

担当 生活支援課

【答弁】 ①支援プランを作成するケースは、支援会議において検証を行っており、プランを作成しないケースは、受託者である市社会福祉協議会において検証し市へ報告しています。今後は市職員による助言指導を行い、相談員のスキルアップにもつなげていきます。②生活困窮者を取り巻く様々な課題に対して、専門知識を持つ機関と連携し適切な支援が行えるよう、他市町村の先進的な取り組みも参考にしながら調査研究を行ってまいります。

その他の質問事項

・町内会の加入促進について

12

質問者 伊藤 あんな

質問

現在は居住地によって教育委員会が学校を指定する学区制となっているが、文部科学省は各教育委員会に通学区区域制度の弾力的運用するように通達している。①本市の校区外・区域外通学の状況について②これまで教育委員会会議等での議論について③部活動や過大規模校区外への就学などの「特認校制」の導入について考えをお伺いします。

担当 学校教育課

【答弁】 ①平成28年度から令和2年度1月末までの許可数は、校区外848人、区域外5266人です。②新藤山台小学校統廃合準備時に、地元要望があった旧西藤山台小学校区の一部で、就学校を選択できる運用を行いました。③部活動を事由に就学校が選択できる特認校制の導入は、過熱化の懸念から予定はありませんが、多くの利点がある過大規模校に、欠点と感ずる子どもには、解消の一手段と考えられるため調査研究いたします。



13

質問者 加藤 たかあき

質問

近年、人々の意識や生活スタイルの多様化から町内会離れもみられ、加入率も55%と年々減少傾向にあります。各地域の抱える課題を把握し、より円滑な運営と町内会維持のためにも、更なる行政支援も必要になっていくと感じております。町内会への支援と情報伝達方法や業務の簡素化含め、負担軽減について問う。

担当 市民活動推進課

【答弁】 町内会の運営面については、各種補助金による財政的支援のほか、活動の手引きとなる冊子やQ&A、活動事例集による情報発信、職員による助言などを行い支援に努めています。また、町内会の負担軽減については、運営が円滑に行われるよう、1丁の活用も含め、区長町内会長連合会の意見も伺いながら、他市の事例等も参考に、地域の実情に合わせた形で活用できるような、様々な事例の収集、発信に取り組みさせていただきます。



14

質問者 伊藤 建治

質問

①今年改定予定の男女共同参画プランには性的少数者なども含めたジェンダー平等の視点や施策展開が必要ではないか。②住宅の賃貸や病院での対応など、LGBTの方が直面している困難に具体的な施策が必要ではないか。③銀行の住宅ローンや携帯電話の家族割など、同性カップルでも認めるようになっていく。パートナーシップ制度の創設をすべきではないか。

担当 男女共同参画課

【答弁】 ①男女共同参画プランの改定については、市民意識調査の結果などを基に、男女共同参画審議会の意見を聞きながら策定していきます。②性的少数者や同性カップルに対する配慮が必要な施策についても、審議会の中で議論していきます。③LGBTなどの性的少数者の方が生活しやすい社会のあり方を調査研究する中で、パートナーシップ制度についても先進自治体の事例を参考に検討していきます。

その他の質問事項

・学校へ行けない子どもたちへの支援について  
・亜皮堅坑跡地質調査報告書について  
・多頭飼育崩壊への対応について  
・コロナ禍における受診控えへの対応について

### (株)ホテルプラザ勝川の経営状況について

15

質問者 村上 しんじろう

質問 新型コロナの影響により、ホテルプラザ勝川は厳しい経営状況にある。令和3年度の収支と3月末の現預金残高の見込みおよび令和3年度の資金繰りの見通しについて問う。また、資金調達根拠となる事業計画の策定が重要と考えるが、現在検討中である経営改善計画の策定を強く求めていくべきと考える。経営改善計画を策定するにあたっての考えを問う。

担当 経済振興課

【答弁】令和2年度の収支は2億2466万8千円の経常損失、3月末の現預金残高は6500万円の見込みです。令和3年度当初には、1年分のホテル2、4、5階の管理委託料が勝川開発から支払われ、現預金が1億2000万円になる予定です。ホテルプラザ勝川は春日井市にとって必要不可欠な施設であることから、その存続、経営健全化に向け、引き続き支援していきます。



16

質問者 石田 裕信

### 生活保護の申請時における扶養照会について

質問

質問 生活保護は最後のセーフティネットです。しかし、親族に経済的な援助の可否を聞く扶養照会が生活保護の申請をためらう要因となっております。①2年度、市で扶養照会を行った件数、その内支援に繋がった件数を問う。②厚労相は日本共産党の小池晃参院議員に対し扶養照会は義務ではないと明言しました。扶養照会を行う必要は無いはずで、市の考えを問う。

担当 生活支援課

【答弁】①2年度1月末までに104件の扶養調査を実施し、その結果、親族による支援が実施されたケースはありません。②扶養照会は厚生労働省の定める保護の実施要領で定められていることから、引き続き実施していく必要があると考えています。ただし、扶養については感情的な問題を生じやすいため、調査は慎重にすべきと考えており、申請者の感情に十分に配慮した対応で進めていきます。

【その他の質問事項】  
・市内におけるバス停の改善について

17

質問者 宮地 ゆたか

### 換気の状態が見える化するCO<sub>2</sub>測定器について

質問

質問 新型コロナウイルス感染症では室内の空気の入替えをすると感染リスクが軽減される。換気が必要換気量を満たしているか確認する方法として、室内のCO<sub>2</sub>濃度を連続測定し数値化する。その値が、教室では1500ppm、施設では1000ppmを超えないように監視する事も有効です。CO<sub>2</sub>測定器の教室・施設への配備と、区町内等への貸出について問う。

担当 市民安全課 学校教育課

【答弁】教室では、窓開けや換気扇稼働など常時換気を徹底する中、学校薬剤師の測定によりCO<sub>2</sub>濃度が基準内であることを確認しており、マスク着用、手洗い励行なども徹底しているため、測定器の配備は考えていません。公共施設では、CO<sub>2</sub>濃度の確認が必要な施設での測定やその他施設での換気や定期的な実施しており、換気は十分にされていることから測定器の常設は考えていません。民間の団体への貸出については、現在考えていません。

【その他の質問事項】  
・市民病院の正面玄関などの改良を求め  
・地方債について

18

質問者 原田 祐治

### 介護保険について

質問

質問 3年度からの第8期の保険料計算の際、基金をすべて取り崩さずに残すとしているが、すべて使えば値下げができた。残す理由について。今後は使える基金はすべて使うように改める必要があると考えるが、市の考えは。第7期については過剰な給付見込みによって必要のない値上げがされた。第8期の見込みはどのように立てたのかと、今後の考え方について問う。

担当 地域福祉課 介護・高齢福祉課

【答弁】基金は、介護給付等に要する財源が不足する場合などに備え、一定の金額を確保していくことは重要と考えます。超高齢社会の進展とともに介護保険事業の運営は一層厳しくなると認識しており、基金の取崩額として最終年度の見込額まで含めるかは次期計画改定の中で検討を行います。給付費等の見込みは、第8期の施設整備の増加分やコロナの影響で利用が減少した分を勘案した上で推計しています。常に最新の状況把握と分析を行い、よりの確な算定につなげます。

【その他の質問事項】  
・潮見坂平和公園について  
・事業者への支援について  
・就職氷河期世代への就労支援について

## 「かすがい市議会だより」の表紙写真を募集します

「かすがい市議会だより」の表紙をあなたの写真で飾ってみませんか。



#### 【募集する写真】

応募者本人が、春日井市内において概ね1年以内に撮影した未発表のもの  
詳しくは春日井市議会ホームページをご覧ください。  
<https://www.city.kasugai.lg.jp/shigikai/>



## 委員会開催状況

- 文教経済委員会（2月2日）  
報告事項
  - 1 国民健康保険税の課税限度額の改定（答申）について
  - 2 朝宮公園整備実施設計（第2期整備）について
  - 3 第4次春日井市子ども読書活動推進計画（案）について
  - 4 鳥居松小学校リニューアル工事基本設計の概要について
  - 5 東部調理場新調理棟整備実施計画の概要について
- 厚生委員会（2月3日）  
報告事項
  - 1 新型コロナウイルスワクチンの接種について
  - 2 第8次春日井市高齢者総合福祉計画（案）について
  - 3 第5次春日井市障がい者総合福祉計画（案）について
  - 4 交通児童遊園再整備の施設配置計画について
  - 5 農と連携した放課後等の居場所づくりについて
  - 6 保育園の整備について
  - 7 第2次春日井市民病院中期経営計画の改定（案）について
- 建設委員会（2月4日）  
報告事項
  - 1 かすがいシティバス路線見直し～新設バス停等～（中間案）について
  - 2 春日井市自転車活用推進計画（案）について
  - 3 春日井市立地適正化計画改定（案）について
  - 4 春日井市空き家等対策計画（案）について
  - 5 高蔵寺リ・ニュータウン計画改定（案）について
  - 6 春日井市耐震改修促進計画（案）について
  - 7 春日井市緑の基本計画（案）について
- 総務委員会（2月5日）  
報告事項
  - 1 消防署整備工事基本設計について
- 文教経済委員会（3月4日）付託議案 10件
- 厚生委員会（3月5日）付託議案 10件
- 建設委員会（3月8日）付託議案 10件
- 総務委員会（3月9日）付託議案 6件、請願 4件
- 総務委員会（3月16日）付託議案 1件
- 文教経済委員会（3月16日）付託議案 4件
- 厚生委員会（3月16日）付託議案 1件

編集委員一同

本議会では、ポストコロナを見据えた行政サービスやデジタル化推進のための予算が盛り込まれました。新型コロナウイルスの流行により、長く続いた個人で生きられる時代が、強制的に終わらされ、手を取り合わないと生きていけない時代になったと感じています。今予算はまさにそれらが反映されたものになっていきます。

私達の生活は選択と投票の繰り返しです。投票？と思う方もみえるかもしれませんが。実は買い物は投票と同じなのです。この企業の商品が好きだから。この企業の理念や活動に共感するから、この商品を買う。逆もしかり。買い物も私達の声を届ける一票なのです。私達一人一人の行動は世の中を変えるアクションになっていきます。そう考えると選挙が身近に感じられませんか。

議会は皆さんの声を行政に届ける場所です。春日井のこんなところが好きだから。皆さんの共感をもとに、選ばれるまちであり続けるために議会、行政と是非々々で議論を尽くしてまいります。春日井市の未来を作るのは、あなた次第です。

## 令和3年 議会開催予定

- 第2 回臨時会  
5月17日(月)～5月19日(水)
  - 第3 回定例会  
6月17日(木)～7月5日(月)
  - 第4 回定例会  
9月9日(木)～9月30日(木)
  - 第5 回定例会  
11月30日(火)～12月16日(木)
- ※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。



道風くん

## 発行時期が 変わります！

春日井市議会の活動内容をお知らせする「かすがい市議会だより」の発行時期が、令和3年4月から次のように変わります。

| 従 来         | 令和3年4月から  | 記事内容      |
|-------------|-----------|-----------|
| 広報春日井5月1日号  | 広報春日井5月号  | 第1回定例会の内容 |
| 広報春日井6月15日号 | 広報春日井7月号  | 第2回臨時会の内容 |
| 広報春日井8月15日号 | 広報春日井9月号  | 第3回定例会の内容 |
| 広報春日井11月1日号 | 広報春日井11月号 | 第4回定例会の内容 |
| 広報春日井2月1日号  | 広報春日井2月号  | 第5回定例会の内容 |

広報春日井に挟み込んで発行します。

市民の皆様へ、いち早く市議会の内容をお伝えするため、各世帯への配付日の前に、「かすがい市議会だより」を市議会ホームページに掲載します。

今後とも、ご愛読のほど、よろしくお願いいたします。



道風くん

## 編集後記

- お詫び かすがい市議会だより2021年（令和3年）2月第112号の7ページ「議会まめ情報」のイラストに不備がありましたので、お詫びいたします。
- 視覚障がいのある方に、本紙を音訳した「声のかすがい市議会だより」（カセットテープ又はCD）を郵送します。事前に登録が必要ですので、ご希望の方はご連絡ください。